

令和 7 年度 地産地消コーディネーター育成研修会 開催案内

～地域の未来をつくる、地産地消コーディネーターの役割～

令和7年 10 月

一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構

(まちむら交流きこう)

I 開催のねらい

地域で生産された地場産物を地域内で活用する「地産地消」の取組は、食材の味覚、鮮度の良さ、産地が近く生産者の顔が見える安心感などから、各地で定着を見せています。

特に、学校、企業、病院、福祉施設など施設給食での地場産物の使用は、農業振興はもとより食育、健康増進、地域社会との連携など多様な効果を生み出しています。また、近年は、食料安全保障の実現、食品ロス削減、資源循環、SDGs への対応などの観点からも地産地消の効果が注目されています。

しかしながら、農林水産業の担い手不足、気候変動などによる生産量の増減、食材費や光熱費など固定費の上昇、調理現場や流通現場の人手不足など、地場産物活用を進める上で今日的な課題が生じています。

このような中、地場産物の活用を持続的に進めるには、地場産物を使用する使い手(施設給食側)と供給する作り手(生産者等供給側)の課題やニーズを把握し、それらの間をつなぐ、いわば「つなぎ手」(調整役)となる「地産地消コーディネーター」の存在が大切です。

本研修会は、各地における地場産物活用の一層の拡大に向けて、地産地消をコーディネートできる人材の育成を目的とするものです。実践事例の手法や工夫や、地域への波及効果などから、給食での地産地消の意義を理解し、地産地消コーディネーターの資質の向上を図ることをねらいに開催します。

II 実施内容

1 開催日時・場所 ※いずれも、1 日目:座学 2 日目:現地研修

(1)神奈川会場

開催日時:令和 7 年 11 月 27 日(木) ～28 日(金)

開催場所:(1 日目) ビジョンセンター横浜みなとみらい 7 階 710 会議室(神奈川県横浜市)

<https://www.visioncenter.jp/yokohama-minatomirai/>

(2 日目) 寒川町学校給食センター(寒川町)、JA 湘南あふり～な 伊勢原店他 ほか

(2)栃木会場

開催日時:令和 8 年 1 月 27 日(火) ～28 日(水)

開催場所:(1 日目) ライトキューブ宇都宮 4 階401・402会議室 (栃木県宇都宮市)

<https://light-cube.jp/>

(2 日目) 道の駅サシバの里いちかい(市貝町)、市貝町立市貝小学校 ほか

2 開催内容

別紙プログラムをご参照ください。(今後、内容に変更が生じる場合もございます。)

3 参加方法

- ・研修会への参加(オンライン視聴も含)は無料ですが、いずれも事前登録制です。
- ・2日目の現地視察では、給食試食を予定しています。給食代(神奈川会場420円、栃木会場310円)は、当日現地で承ります。
- ・お申込みは、別紙「参加申込書」(FAX またはメール用)、または、「応募フォーム」(Google フォーム)、もしくは、メールに直接記入(都道府県・市町村、ご所属(部課名)・ご職業等、お名前、ご連絡先(電話、メールアドレス)、参加希望内容)のいずれかで、事務局までご連絡ください。
- ・お申込み受信後、1 週間程度で受付メールをお送りします。メールが届かない場合はご連絡ください。
- ・会場参加の申込締切は、開催 1 週間前です。ただし、定員になり次第、締め切りとさせていただきますので、お早めにお申し込みください。
- ・当日ライブ配信を予定しています(1 日目の座学のみ・定員なし)。
- ・アーカイブでの配信は、配信終了日(令和 8 年 3 月末)まで、いつでもお申込み・視聴いただけます。
- ・1 日目終了後、会場近辺で、参加者の夕食交流会(希望者のみ・会費制)を企画予定です。会場参加お申込の方に別途ご連絡いたします。

4 会場参加定員(事前登録制)

神奈川会場・栃木会場ともに、1 日目50名程度、2 日目30名程度

5 その他

(1)会場参加について

- ・2日間を通じてご参加ください。2 日目のみのご参加は原則として承りません。
- ・会場までの交通機関、宿泊については各自でご手配・ご負担ください。
- ・感染症などの拡大防止のため、当日体調不良や発熱などの症状がある方は参加をご遠慮ください。

(2)ライブ配信、アーカイブ配信での参加について(動画視聴される方)

- ・ご視聴は、パソコン、タブレット、スマートフォンなどをご利用ください。
- ・ご視聴にはインターネット環境が必要です。データ通信量などは各自ご注意ください。
- ・セキュリティの関係で YouTube などアクセスできない場合もあります。その際は、アクセス可能な端末(スマートフォン等)を利用してご視聴ください。
- ・配信された動画を録画した視聴や二次使用は、ご遠慮ください。

Ⅲ 主催者・事務局（お問合せ・お申込み先）

一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構(まちむら交流きこう) 業務第2部 地域活性化チーム
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-9-11 石川COビル3階
電話:03-6206-0956 FAX 番号:03-6381-0739 E-Mail:chisan@kouryu.or.jp

開催案内・参加申込書など	https://www.kouryu.or.jp/service/chisanchisho.html (まちむら交流きこうホームページ内)
参加申込フォーム	https://forms.gle/rqHxEK2ckD18Phxn8 (Google フォーム)

令和 7 年度 地産地消コーディネーター育成研修会【神奈川県会場】

ー JA と連携した地場産物の活用と食育活動 ー

■1 日目(11 月 27 日・ビジョンセンター横浜みなとみらい)

時 間	項 目	内 容(敬称略・仮題)
13:00	開会・挨拶	
13:10~13:25	情報提供	「スモールステップからはじめる学校給食での地場産物等活用のためのガイドブック」のご紹介 農林水産省農村振興局 都市農村交流課
13:30~14:10 (40分)	講 座 1	「JA と連携した地場産物供給体制づくり」 寒川町教育委員会 教育施設給食課 井上貴律 ※令和 5 年 9 月に稼働した新センターでの町内産品活用に向けた、JA との連携・供給体制づくり等についてお聞きます。
14:15~14:55 (40分)	講 座 2	「学校給食への供給体制づくり・担い手の確保について」 JA はだの 営農販売部 営農課 中島 聡 ※中学校給食に向けた地場産物の確保や生産者との調整方法、供給体制づくりのプロセス等についてお聞きます。
15:00~(10 分)	休憩	
15:10~15:50 (40分)	講 座 3	「JA 等と連携する市内産活用と食育・地産地消への展開」 川崎市教育委員会事務局 健康給食推進室 小田貴子 ※中学校給食での「かわさきそだち」の取組、JA や生産者、地域の事業者等と連携した食育活動、地産地消活動等をお聞きます。
15:55~16:35 (40分)	講 座 4	「地場産物活用に向けた JA・生産者との連携のポイント」 JA 神奈川県厚生連 伊勢原協同病院 管理栄養士 石井洋子 ※定期的に行われる、JA 担当者、生産者、病院栄養士等との納品に向けた打合せの内容など、JA との連携づくりについてお聞きます。
16:40~17:00 (20 分)	意見交換	テーマ:JA と連携する供給体制づくりに必要なこと 助言:明治大学農学部 教授 竹本田持
17:05~17:25 (20 分)	総 括	JA と連携する供給体制づくりに向けて 講師:明治大学農学部 教授 竹本田持
17:30	1 日目終了	事務連絡(2 日目スケジュールなど)

※各講座とも講義のあとに担当講師への質疑応答を設けます。

※1 日目終了後、会場近辺で参加者の夕食交流会を企画予定です。会場参加お申込の方に別途ご連絡いたします。

■2 日目(11 月 28 日・寒川町学校給食センターほか)

時 間	項 目	内 容(敬称略)
9:00	集 合	寒川駅(JR 相模線)
9:10	出 発	※参加者は、視察バスで移動します。
9:30~12:30	現地研修 1	寒川町学校給食センター 視察・給食試食 ※施設見学と併せて、学校給食での町内産活用について、また、JA さがみ担当者から、供給体制づくりに向けたポイント等をお聞きます。
12:40~13:10	現地研修 2	JA さがみ わいわい市 寒川店(直売所)視察
13:40~14:20	現地研修 3	JA 湘南 あふり〜な 伊勢原店(直売所) 視察
14:40	終了・解散①	伊勢原駅(小田急小田原線)
15:10	解散②	寒川駅(JR 相模線)

※解散時刻は予定です。天候や当日の交通事情により遅れも予想されます。お帰りの交通は余裕をもってご手配下さい。

令和7年度 地産地消コーディネーター育成研修会【栃木会場】

ー給食供給に向けた生産体制・担い手確保の仕組みづくりー

■1日目(1月27日・ライトキューブ宇都宮)

時 間	項 目	内 容(敬称略・仮題)
13:00	開会・挨拶	
13:10~13:25	情報提供	「スモールステップからはじめる学校給食での地場産物等活用のためのガイドブック」のご紹介 農林水産省農村振興局 都市農村交流課
13:30~13:45	話題提供	栃木県の地産地消の取組について 栃木県農政部 農政課
13:50~14:30 (40分)	講 座 1	「市貝町の学校給食供給における直売所の役割」 道の駅サシバの里いちかい 支配人 小堀一浩 ※町内の学校給食に向けた直売所での供給体制づくり、生産者の担い手の確保、食育活動等についてお聞かせします。
14:35~15:05 (30分)	講 座 2	「新規就農で有機農産物供給を支える生産者の思い」 市貝町オーガニックビレッジ協議会メンバー 新本聖馬 ※有機農業に取り組んだ経緯、給食供給への思い、農業の担い手を増やすために必要だと思うこと、今後の夢などをお聞かせします。
15:10~(10分)	休 憩	
15:20~16:00 (40分)	講 座 3	「有機農業の推進と学校給食への供給体制づくり」 長野県松川町 産業観光課 宮島公香 ※松川町の農業振興(遊休農地解消・新規就農者支援等)で進める有機農業や給食での地場産物活用等についてお聞かせします。
16:05~16:35 (30分)	講 座 4	「給食での地場産物活用に向けた地域連携づくり」 鹿児島県(福)徳之島福祉会 樺山ほずみ ※地域内の協力体制づくりのプロセス、地産地消推進による地域の変化などについてお聞かせします(令和6年度コーディネーター派遣地域)
16:40~17:00 (20分)	意見交換	テーマ:地場産物供給の担い手確保に必要なこと 助言:栃木市大平学校給食センター 栄養教諭 中田智子
17:05~17:25 (20分)	総 括	給食での地場産物活用に向けて 講師:栃木市大平学校給食センター 栄養教諭 中田智子
17:30	1日目終了	事務連絡(2日目スケジュールなど)

※各講座とも講義のあとに担当講師への質疑応答を設けます。

※1日目終了後、会場近辺で参加者の夕食交流会を企画予定です。会場参加お申込の方に別途ご連絡いたします。

■2日目(1月28日・道の駅サシバの里いちかい、市貝町立市貝小学校ほか)

時 間	項 目	内 容(敬称略)
7:50	集 合	宇都宮駅東口
8:00	出 発	※参加者は、視察バスで移動します。
9:00~10:15	現地研修 1	道の駅サシバの里いちかい 訪問・見学 ※施設見学(集荷や保管の現場など)のほか、オーガニックビレッジ・有機給食の取組や、供給を担う生産者の思い等をお聞かせします。
10:30~12:30	現地研修 2	市貝町立市貝小学校 訪問・給食試食 ※ランチルームからの給食づくりの見学のほか、地場産物・有機農産物を活用した献立づくりの工夫等についてお聞かせします。
13:30~15:00	現地研修 3	「ましこ農の学校」訪問・視察(道の駅ましこ) ※担い手確保の一つとして取り組む、「ましこ農の学校」紹介や加工等の取組についてお聞かせします。
16:00	終了・解散	宇都宮駅東口

※解散時刻は予定です。天候や当日の交通事情により遅れなども予想されます。お帰りの交通は余裕をもってご手配下さい。

令和 7 年度 地産地消コーディネーター育成研修会 会場のご案内

【神奈川会場】「ビジョンセンター横浜みなとみらい」 7 階・710

住所:神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-6-1 みなとみらいセンタービル 7F

公式サイト:<https://www.visioncenter.jp/yokohama-minatomirai/>



(交通アクセス)

- 横浜高速鉄道 みなとみらい線
「みなとみらい駅(4 番出口→4b 出口)」
徒歩 0 分 駅直結
- JR 京浜東北線・根岸線、市営地下鉄ブルーライン「桜木町駅」北口 徒歩 11 分
- パシフィコ横浜 徒歩 5 分

※駐車場の情報等は、公式サイトをご参考ください。

【栃木会場】「ライトキューブ宇都宮」 4 階・会議室(401・402)

住所:栃木県宇都宮市宮みらい 1-20

公式サイト:<https://light-cube.jp/>



(交通アクセス)

- JR 宇都宮駅 直結
(東口・徒歩 2 分)

※施設内に駐車場はありません。近隣の駐車場をご利用ください。

各会場とも、ご参加に必要な交通機関・宿泊施設については各自でご手配下さい。